

私の夢アイデア

それは・・・



F1 カップ

インスパイア—されたのは、  
(パクリノベシヨ—シヨンさせていた  
だきましたのは)

・自動車レース最高峰 **F1** モナコ  
グランプリ

と

・ **STRIDER CUP**

イメージは、こんな感じ・・・



レースの舞台は、モナコのモンテカルロ区とラ・コンダミーヌ区の公道を閉鎖して造られた1周3,340mのモンテカルロ市街地コース

なんと街なかF1のコースに・・・知ってますよね

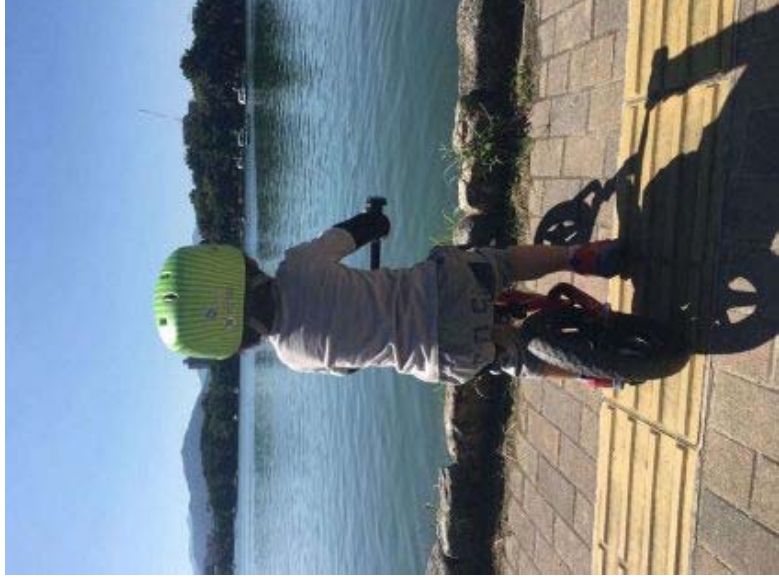
F1モナコグランプリ

イメージは、こんな感じ・・・



STRIDER CUP2016 HPより

一人公園で遊ぶとこんな感じ・・・



哀愁ただよいますが、楽しんで  
いる風景です

こども達のありあまる元気をエンジンに

“まち”をかけぬける！！

“福岡天神”を舞台に、ペダルなし自転車、最高峰のレースを開催したい！！

これが私の**夢**・アイデア



# F1カップの“F”

F o o t

F u n

F u t u r e

F u k u o k a

F ●●●

応募の背景（何をしたいのか？）

夢に込めた3つの思い＋α

- ① ボーダレスなまち
- ② 名前のあるまち
- ③ 子ども中心のまち



## ①ボーダレスなまち

まちの境界をなくすことで、生まれる  
つながりがあるのでは？

- 境界が生んだ弊害（「こっちは誰々さんの管理なので」「空間としてもお堅い。」）
- 「あいまいさ」の中にあつた、気遣い、思いやり、つながりみたいなものが出せないか
- 境界を無くして一緒にすることで生まれるものもある

## ②名前のあるまち

名前（道路、公園）や表札があると  
もっと身近にまちを感じるのでは？

- 震災時に感じた不安。隣人の名前知らない。これで生まれる気持ちの壁
- 名前を知ること、知らない街が身近なまちになるのではないかな。（道路や公園の名前とかも）
- 知ってもらったことも大事

### ③子ども中心のまち

子どもが楽しく歩けるまち＝みんなが快適に歩けるまちとなるのでは？

- ・ 郊外大規模店舗のメリット
  - ⇒車を気にせず歩ける
  - ⇒親子連れが多い場＝子どもが走り回っても（ある程度）許容される場
- ・ 子どもが一人でも歩けるまちは、世界で一番安心なまちなのでは。

①ボーダレスなまち

(車道を子ども・自転車に解放)

②名前のあるまち

(レースを通じて、通り名を付けてみる)

③子ども中心のまち

(当日、まちの主役は子ども)

こういった事が、F1カップで、出来る！  
常に作ることは難しくても、1日、2  
日・・・そんな日を作れそう。(お祭りな  
ど、晴しの日は、まさにそれですよね。)

## ＋（プラス）

子どもが

「ぼく・わたし、  
ここ来た（走った）ことある！！」  
で生まれるまちへの愛着・回帰

福岡（天神）だから出来る

F U N イベント

モナコのように文化を作り

まち一体で楽しむ

（F1はずぶの素人です何もわかってません。勝手なイメージです。）

＋（プラス）

“まち”を子どもに  
解き放つ

実現に向けたアイデア

を・・・

考え中

ですが。夢中心のアイデアとして、

# 実現に向けたアイデア

## <コース>

- ・まち中ど真ん中を走ってほしい。
- ・渡辺通りを走ってみたい。
- ・将来的には、九州のまちなか各地へ展開したい





## 実現に向けたアイデア

<テーマ曲>

- ・「日曜日よりの使者」
- ・HONDAともコラボしてみたい。  
(熊本県大津町には、二輪工場)



ストライダーエンジンヨイカッ  
プ熊本ステージ (HSR九州) HPより



## 実現に向けたアイデア

### <仕組み>

- ・エリアマネジメントからの展開

※社会実験を通じた取組み

※財源の確保（公園、広場等を任意団体で管理し、自主財源を創出していく）

※将来的には、歩行者専用道路があるといい。先ずは、都市利便協定で、歩行者専用道路とかへ展開していく。

などなどを展開しながら、

“福岡天神”を舞台に、ペダルなし自  
転車、最高峰のレースを開催し  
子ども中心のまちづくり展開  
していくこと

以上が私の夢・アイデア